



子どもたちと一緒に

おおいそ学園 園長
菅野 大史

6月1日付で園長に着任いたしました菅野(かんの)と申します。よろしくおねがいたします。

前職は障害者支援施設に勤務しておりましたが、これまでの県職員としての経歴も、障害児者への支援に関する仕事に携わることが長かったので、児童福祉の現場、とくに、全国に58施設しかない児童自立支援施設での勤務が決まってからは、まるで新採用職員のように、期待と不安が入り混じる日々を送っておりました。

そして6月1日、学園長としてはじめて子どもたちの前で挨拶をしましたが、子どもたちの表情が想像以上に穏やかであったのが印象的でした。その一方で、「なぜここにいるのか」「どんな課題を抱えているのか」「ここに来るまでに何があったのか」をしっかりと理解した上で、関わりを持つことになった大人の責任として、一人ひとりの人生を真剣に考えていかなければならないということを、重く感じ取った瞬間でもありました。

6月中旬、着任してまだ日も浅い状況ではありましたが、「全国児童自立支援施設長会議」に参加し、多くの施設長さんと交流させていただきましたが、新任の園長にとってこの会議への参加は、本当に貴重な経験になりました。特に、「新任で不安。大丈夫か。」という泣き言を繰り返す自分に対してある施設長さんが次のような言葉を投げかけて下さったことが強く

心に残っています。「初めての職場だからと難しく考える必要はないですよ。やることは、どの福祉分野でも同じなのですから。」

「信頼関係をつくっていく中で「大切にされている」という子どもの思いをどう育てていくかが大切なのです。」「子どもが退所する時「この施設に来て良かった」と思ってくれる、そんな支援をすればよいと思います。」

この話を聞いて今まで胸につかえていたものがストーンと落ちたように思いました。つまり、働く場所や分野が変わっても、自分が今まで支援者として考えてきたこと、取り組んできたことに変わりはないのだと、そんな思いにさせてくれる言葉でした。

もちろん、現実がそれほど甘いものではないことは承知していますが、これから、このおおいそ学園で、子どもたちの未来のために、子どもたちと一緒に汗をかいていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



寮作業 みんなでつくった畑

行事特集～サマーキャンプ～

桂寮

桂寮は7/24～25にかけて中津川で川遊びやスイカ割をしたり、服部牧場にて高原ソフトクリームを食べたりしました。宿泊施設の愛川ふれあいの村では、野外炊事としてチキンカレーを作ったり、キャンプファイヤーをしてのんびりと火を眺めたりしました。二日目にはクラフト作りとして七宝焼きを職員と子どもが慎重かつ大胆に作っている姿が印象的でした。帰りの車内はほとんどの子どもがぐっすり眠ったまま帰園していました。（桂寮 山岸）



竹寮

竹寮は7/31～8/1にかけて秦野戸川公園でBBQや川遊びをやり、秦野市表丹沢野外活動センターへ移動し宿泊をしました。天気には恵まれ、暑い中ではあったもののみんなで大たくさん遊び、みんなでBBQやカレーを食べることができました。また、8/1の昼食は寮へ戻り、寮前で流しそうめんを実施しました。竹を切るところから事前にみんな準備をしたこともあっていつもよりおいしく感じる事ができました。（竹寮 古宮）

梅寮

梅寮は7/27～28で丹沢湖方面にある笹子沢バンガローへ行ってきました。現地では川遊びやBBQ等をして過ごしました。学園生活では普段経験することのできないことが多く、特に五右衛門風呂での入浴は最初はみんな抵抗感を抱いていましたが、いざ入ってみると気持ちよく当初の印象とは異なり癒しの時間となりました。2日目の昼食は寮前で流しそうめんを行ない、談笑しながらみんなお腹いっぱい食べ、充実した2日間となりました。（梅寮 田中）



～野球部 活動紹介～

6/15、29の2日間で関東少年野球大会が群馬県で行われました。初戦、2回戦と勝利して準決勝へ駒を進めました。準決勝では、全国大会がかかった大事な一戦で序盤から子どもたちの緊張が強く、ミスも出てしまいましたが、最後まで戦い抜き、9-5で決勝進出を決めました。決勝の相手は、昨年度も対戦した埼玉学園で、メンバーは違いますが、昨年度のリベンジをと挑みました。緊張と疲れなどから劣勢の状況が続き、2-9と敗戦、結果は昨年同様準優勝となりました。準優勝ではありましたが、最後まで諦めずに戦い抜いたこと、なかなか経験することのできない全国大会出場が子どもたちの今後の成長につながるのではと感じています。全国大会ではベストを尽くし、最高の結果を残せるよう頑張りたいと思います。(梅寮 田中)



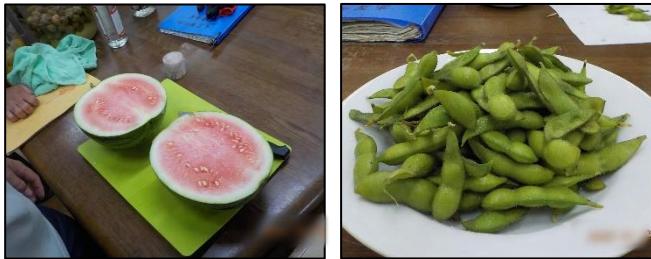
～水泳部 活動紹介～

今年度はプール機器の故障のため、例年より少し遅れて水泳部の活動がスタートし、活動内容は泳力に応じて、初級・中級・上級に分かれて練習を行いました。8/15に東海大学湘南キャンパスへ行き、大越教授から基本的な泳ぎ方と飛び込みスタートの方法を学び、参加した児童は指導を熱心に聞き練習に励んでいました。8/18には神奈川県児童福祉施設水泳大会に参加しました。大越教授から教わった飛び込みでスタートする児童も多く、7月から練習してきた成果を存分に発揮し、入賞する児童、参加種目を諦めず懸命に泳ぎ切ろうとする児童の姿勢が記憶に残る大会となりました。(梅寮 森野)



【大会結果】

6/15, 29	関東少年野球大会	準優勝
8/8～10	神児研野球大会	準優勝
8/29～31	全日本少年野球大会	3位
8/18	神児研水泳大会	1位種目
	25m バタフライ	100m 自由形
	50m 平泳ぎ	100m 平泳ぎ
	50m 背泳ぎ	200m リレー



～高等部 活動紹介～

あっという間に梅雨も明け、またまた暑い季節がやってきました。作業中の水分補給は自家製の梅エキス、青紫蘇（赤紫蘇）ジュース。おやつは旬の収穫物（キュウリの丸かじり、茹でた枝豆、焼きトウモロコシ、茄子や玉葱も炒めたりレンジでチンしたり）で栄養を補給しながら…端から見ると調理クラブのよう。分校の先生から学園で採れた枇杷を使ったゼリーの差し入れもあったり、嬉しいサプライズ。今年は収穫祭も開催される方向なので後半に向け高等部生5人（内1人はアルバイト中）頑張っています。

（高等部 鶴岡）

～医務課だよい～

夏休みになり毎日暑い日が続く、学園ではセミの合唱が聞こえます。子どもたちはみんな野球や水泳の大会に向けて練習しているので真っ黒に日焼けしています。今年は大変暑いので熱中症には特に注意しています。他の職員と協力しながら普段から児童の様子を見たり会話をするようにして、ちょっとした変化に気づけたり子どもたちが気軽に相談できるように心がけています。夏休みには歯磨きや手洗いの指導と身体計測を予定しています。成長期の子供たちにとって夏はいろいろな経験ができる大切な時期なので、安全に過ごせるように支援したいです。（看護係長 佐山）



【編集後記】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、大会や行事が本格的な実施となりました。多いに盛り上がった子どもたちの姿が伝われば幸いです。（広報委員会一同）